

日吉台地下壕保存の会

# 会報

## 第22号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込(口座番号)横浜2-62997

(加入者名)日吉台地下壕保存の会

### 特集

## 平和のための戦争展

### 私の町から戦争が見える

登戸研究所と日吉台地下壕の謎を追う

### を終って



岡上そう画

目次	ページ
楽しく長続きする平和展を	2
平和のための戦争展	2
実行委員の一人として	3
模型の完成に感激した私	3

目次	ページ
平和のための戦争展に参加して	4
当日のアンケート(感想)	4
平和のための戦争展を終って	6
会計報告	8

楽しく長くは続き、  
する平和展を

川崎市中原平和教育  
学級記録編集委員会

渡辺 賢二

初めての日吉台地下壕と登  
戸研究所の合同展でしたが成  
功して本当によかったと思  
います。特に、お互いに無理を

せず、出来る範囲でやろうと  
努力し合ったことは今後も続  
けられるエネルギーを生んだ  
ものと評価できると思います。  
登戸研究所跡地の建物が次  
々と壊されつつある中で、今  
年に入って三回の見学会をや  
りましたが、現代戦の恐怖を  
考えるとりくみとして、今後  
も頑張りたいと思います。

戦争遺跡の保存運動は、学  
習し、交流し、拡げていく地  
道なとりくみが求められます。  
登戸研究所や日吉台地下壕、  
川崎蟹ヶ谷地下壕などを保存

するとりくみを今年もじつじ  
りと進めていきましょう。十

二月には御一緒に展示、交流  
会をおこないたいと思います。

平和のための

戦争展

実行委員長

亀岡 敦子

平成四年一二月一三日午後

五時、二日間に渡って川崎市

平和館で開かれた「平和のた

めの戦争展」は終了しました。

穏やかな日和にめぐまれ、予

想以上の大勢の方々に観て頂

けたし、内容も概ね好評だっ

たと思います。この戦争展は、

『私の街から戦争が見える』

とうたった様に、私達の地域

に在る戦争の跡を、身近な場

所で観てもらいたいと言う願

いから出発しました。川崎市

登戸にある旧陸軍登戸研究所

と、横浜市日吉にある旧海軍

連合艦隊司令部地下壕の実態



を知る事により、あの大战の  
意味を問い直したかったので  
す。

二つの場所を結ぶ企画はそ  
れに関わる人間をも結びつけ  
ました。この指とまれ方式の  
実行委員会を組織し、寺田貞  
治、渡辺賢二両氏を代表に選  
び、何と川崎市教育委員会と  
の共催までこぎつけたのです。  
場所はその名も『平和館』、

時は太平洋戦争開戦の日を意  
識した一二月一二日・一三日  
の土曜日と日曜日の二日間。

内容は展示、映画とビデオの  
放映、民舞や手話ダンスなど

の公演、若者達の討論会、更  
にシンポジウムと盛り沢山の  
プログラムでした。経費は思  
いもかけず大勢の方々からお  
寄せ頂いた賛同金でまかなう  
事が出来ました。文字通り物  
心共に支えられて、準備に集  
中する事ができたのです。経  
済的不安のなかった事が、わ  
ずか四ヶ月の準備期間と、寄  
台い所帯の実行委員会のハン  
デイをはねのけたと思います。  
年齢も職業も様々な委員の方  
々との出会いと、ケンケンガ  
クガクの話し合いこそ、私に  
とって、もしかしたら、本番  
よりも楽しかったかもしれま  
せん。だから性こりもなく、  
「来年こそ、口先だけでない  
運営委員長をやります」と手  
を挙げてしまった次第です。  
内容を更に充実させて、第二  
回展に臨みたいと思います。  
又、お知らせをかきまします。ど  
うぞ宜しくお願ひ致します。

## 実行委員会員の

一人として

喜田 美登里

保存の会にかかわって日の浅い私には、今度のイベントは地下壕の資料を色々見られ、会の方達とも改めて知り合える良い機会でした。

十二日午前中、展示の仕事を手伝いました。パネルが整っていて、手慣れたふうに準備している「登録グループ」を横目で見ながら、どんな仕上りになるか不安でしたが、資料、写真、遺物、日吉台中学地歴部とOBの力作・日吉台地下壕の模型等を展示できました。これからの地下壕問題のアピールのためには、展示用にわかりやすい構成のパネルを作る必要性を、準備しながら話合ったりしました。

二日間の「戦争展」は川崎横浜と本当はお隣り同志の行

政区分を越えた交流でしたが、盛り沢山な内容で全部を見られた人はいないでしょうね。

新聞にも「戦争展」の記事が載りました。十二日の「若者たちによる平和メッセージ」の写真が多かった様です。先生や大人を交えた短い時間でしたが、若者の感性をもっと投げ返してほしいと思えました。

風船爆弾の大きさをモゾウ紙を繋ぎ合わせて確認した後、みんなでメッセージを書いて下さってありがとうございます。

十三日のシンポジウムに戦争当時の写真を複写して届けて下さった男性グループがあり、感謝しています。戦争展をきっかけに人の輪ができ、交流が始まっていることを感じました。

模刑土の完成に  
感心激した私

高校生

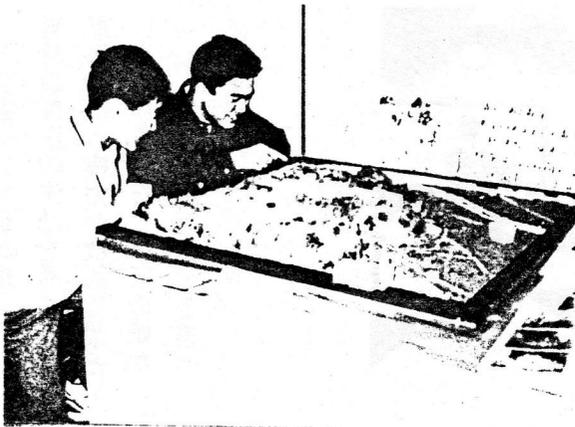
岡上 そう

「平和のための戦争展」では、模型を担当しました。普段、地下壕保存の会であまり力にならない私は、戦争展で出来るだけのことをやってみたいと思いました。そこで「これなら私でも」と思って模型作りに立候補しました。

しかし、後になって考えてみると、私は今までプラモデルや、木工など、ひとつも完成させたことがないのに気がきました。

結局、開催の二日前になり、模型の影、かたちはなく、出展を半ばあきらめていました。「やっぱり、ろくにプラモデルもつけない奴に模型なんて到底出来るわけがない。あーどうやって皆さんに顔を合わせればいいんだろう」

しかし、そんな事を考えているうちに、だんだん腹が立ってきました。「ここで頑張らなければ、今までと同じじゃないか！ それに模型には皆さんから多くの期待がある。しかも模型をつくって来たのは私だけじゃない。谷藤先生や、部活の後輩たち、友だち・・・そんな多くの人たちの努力、期待を私は背負ってるんだ。そんなことを思ったら、



休んでなんかいられない!

『みんなの期待を無駄にはしないぞ!』そんなキメゼリフを頭の中にたたきつけて、再び作業は始まりました。そして、なんと、その日のうちに模型の形が出来たのです。

開催前日になり、模型の紙粘土も乾き、あとは色を塗ったり、デコレーションをしたり、デコレーションをするだけのいわゆる仕上げをするだけとなりました。・・・完成したのはその日の午後八時のこと。そこには汗だくになりながら微笑む僕らがありました。・・・

そんな物語が秘められた日吉の模型・・・皆さんはどう御覧になったでしょうか。

私としては、初めて「参加」することが出来た素晴らしい思い出です。そう・・・素晴らしい作品だったと思います。

### 「平和のための戦争展」に参加して

憲法を学ぶ会

永田 仁美

コートの上をたて、平和館へ通った日から、もう数ヶ月が過ぎ、日差しにやわらぎを感じる頃になってしまいました。沢山の皆さんと平和展の企画、準備、実行を通して関わられたこと、そして平和を創っていく語り台が、いろいろな世代と共にできたことが思い出されます。PKO、国連事務総長のガリ発言など国内では考えなければいけないことが山積みされています。人任せではなく自分の問題として議論や勉強をして、次の世代に重荷を背負わせないようにしたいものだと思います。長靴を履いての地下壕見学は初めての体験で、穴の中に

入るということは、戦時中の「防空壕」となせか重なり、当時の庶民の生活を考えると、軍隊という権力が改めて恐ろしくなりました。小三の娘が、「私も入ってみたい」と言っていました。

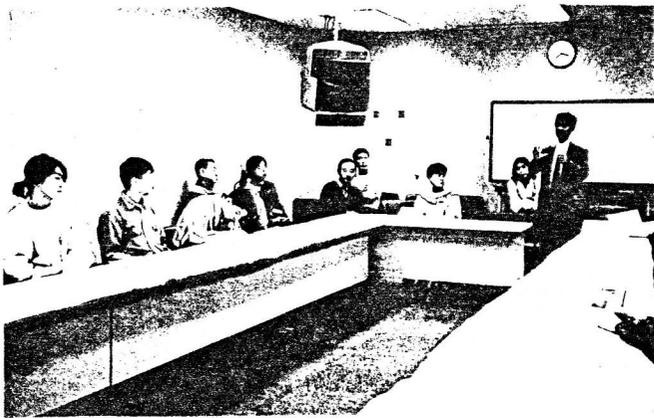
### 当日のアンケート (感想心)

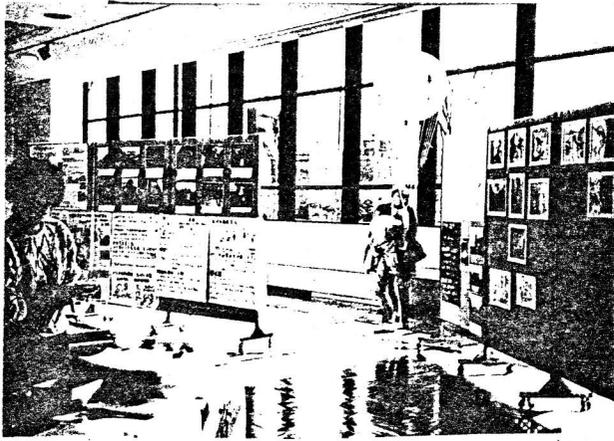
★私達のこんな身近なところにも戦争のあとが残されているとは知りませんでした。

見学の機会があったら是非この目でたしかめたいと思いますので御連絡下さい。

私の友人が戦争中学徒動員で日劇で風船爆弾を作っていました。風船爆弾のことが詳しくわかってよかったですと思います。関係者の御努力に感謝します。

★先月地下壕を見学する機会に恵まれました。入るまでドキドキしていた心が一步内に踏み入れたとたん、それは消え、こわさを感じました。ここで指令が出されていた、人間として扱われない場がここにあった。地球に生れ、そして死んでゆく地球の生き物の一人として、もっともっと平





和を願わずにいられない一日  
でした。

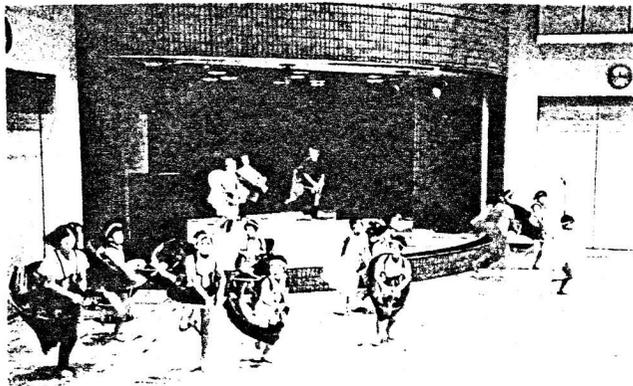
★風船爆弾の模型をみて、本  
物ほどの位の大きさになるの  
だろうかとおどろきつつ、実  
物の大きさが見当がつかない  
自分を感じました。地図でア  
メリカにとんだ地点をみて、  
本当にアメリカ各地までとん  
だんだナと思いました。

登戸研究所の展示や日吉台  
の事等や、シンポジウムの中  
での軍事基地が沖縄について

二番目たという事、今、平和  
そうに暮しているそばに戦争  
の遺物が点在しているんだな  
あとあらためて感じ、学びた  
いと思いました。

★立正大学の社会教育を学ぶ  
藤田ゼミナールで紹介を受け  
てやってきました。「平和館」  
というひびきがまずとても新  
鮮ですね。

藤田ゼミでは藤田秀雄編  
「平和学習入門」(国土社)  
をテキストに平和学習を学ん  
でいます。だからどうしても  
社会教育と関係づける様な視  
点になってしまいました。そ  
うした中で考えたのは、地域  
には、戦争が残っているとい  
う事です。特にこれから語り  
ついでゆくべきことは、加害  
者としての日本の姿だと思っ  
ます。どうしてもこういう展  
示会だと被害者の視点だけで  
終わってしまいがちですが、地  
下壕における朝鮮の労働者の



ことがでてくるなど、たいへ  
ん立体的というか全体的な把  
握が出来る催しでした。

来年度からわたしは新潟市  
役所で働くようになりますが、  
新潟にむけていい土産が出来  
ました。





一月一日 会報第二〇号  
イベント特集 発送。

一月五日 第三回打合せ

実行委員の弁当、交通費など

運営費支出決定

一月一五日 プレイイベント

として登戸研究所見学会。

一月二二日 プレイイベント

として日吉台地下壕見学会。

一月二八日 右同

一月末 川崎市教育委員会

共催、川崎市後援が決定。

十二月初 時間割入りピラ

発送。

一月二二日午後一時開始、

五時終了。

午後二時半〜四時半

討論・若者たちによる

平和メッセージ

川崎市中原平和教育学級記

録編集委員会関係、憲法劇団

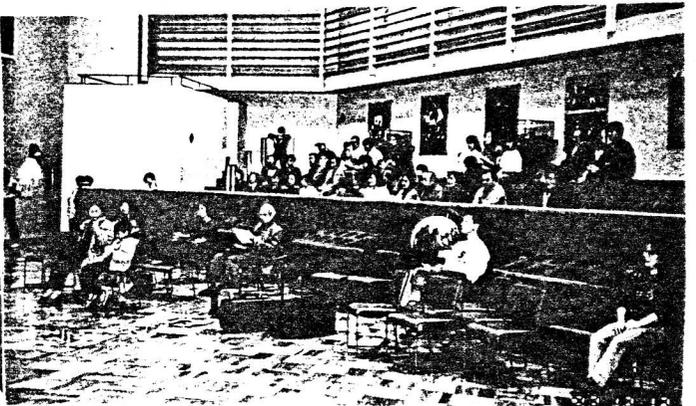
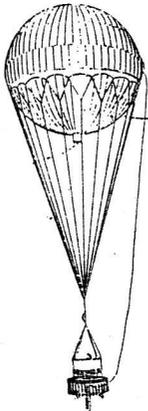
関係、日吉台中学地歴部関係

その他一般の中高生のみな

さんが集まって下さいました。

登戸と日吉台の展示を渡辺  
寺田両先生の説明を聞きなが  
ら一巡し、会議室にて、自己  
紹介かたがた展示を見た感想  
など述べ合いました。

最後に風船爆弾の大きさを  
想像しようと、モゾウ紙を三  
重(実物は和紙が三重になっ  
ていた)にして、繋ぎ合わせ  
ました。風船の一边に過ぎな  
いの廊下にまではみ出しま  
した。糊のつけ具合はおそま  
つで「これでは不合格です。  
当時の女学生は湿気の多い部  
屋で気泡ができませんよう、丁  
寧に張合わせました」と渡辺  
先生から当時の苦労話を伺い  
ました。



十二月一三日午前一〇時開始、午後四時全企画終了。

午後一時〜四時

シンポジウム・登戸研究所と

日吉台地下壕の調査の現状および今後の課題

昨日の若者の討論会とは異なり、軍隊経験のある年配の方が百名余り集まって下さいました。

渡辺先生から登戸の報告がなされ、寺田先生から日吉台の報告があり、一旦休憩の後質疑応答に入りました。大変活発で真剣な発言が次々と出され、時間切れて終了しました。

\*松代大本営では公開されているのに、神奈川では何故公開されないのか。  
\*県内には弾薬庫など、戦争の遺跡は沢山あるがネットワークができないか。

\*マスコミ関係に協力してもらっては？

\*慶応大学に働きかけてはどうか。

など、保存に向けて真剣な意見が出されました。

九三年一月一四日 反省会

於新丸子「華野」

\*成功してよかった、今後も続けていきたい。

\*展示準備、当日の記録、写真、参加者名簿など、分担責任者を決めるとよい。など。

「平和のための戦争展」会計報告

取入の部	
賛同金振込	90,100
見学資料代	43,500
地下壕保存の会	20,000
戦争展資料代	45,300
カンパ	1,000
賛同団体(団体)	10,000
賛同人(個人)	49,500
合計	259,400

支出の部	
平和館使用料	40,840
事務・通信費	57,975
材料費	58,549
交通費	28,200
運営費	29,872
合計	215,435

差引残高 ¥43,965

残金は今後の活動費として有効に利用させていただきます。

1993.3.3

和のための戦争展実行委員会

代表 渡辺 賢二 印  
 代表 寺田 貞治 印  
 会計 白鶴 邦子 印



\* \* \*  
ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

四月五日 会報第二二号「特集イベントを終わって」発送。  
 その他 報道関係  
 朝日新聞 十二月八日  
 神奈川新聞 十二月十二日  
 東京新聞 十二月十三日など



# お知らせ

日吉台地下壕保存の会第5回総会を左記の通り開催します。総会后、カンボジア問題について、パネルディスカッションを計画しております。パネリストとしてカンボジア難民の方、NGO（非政府組織、民間非営利団体）でカンボジアで活動されているSHARE（国際保健協力市民の会）やJVC（日本国際ボランティアセンター）の方々に来て頂く予定です。きっとテレビや新聞では知り得ないお話が聞けるものと思います。多くの方々の御参加をお待ちしています。

## 日吉台地下壕保存の会

### 第5回総会

○日時：4月17日（土）午後2時～5時

○場所：慶應義塾大学藤山記念館大会議室

○総会（午後2時～3時）

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

- (1) 1992年度活動報告
- (2) 1992年度会計報告
- (3) 1992年度会計監査報告
- (4) 1993年度運営委員、会計監査の選出及び承認
- (5) 1993年度活動方針案説明
- (6) 1993年度予算案説明
- (7) (5) (6) の質疑応答及び承認
- (8) 新会長挨拶
- (9) 総会アピールの採択と承認
- (10) その他

5. 議長解任

6. 閉会の辞

○ビデオ上映（3時～3時半）

### 「カンボジアの現況」

○パネルディスカッション（3時半～5時）

### 「カンボジアと日本の国際貢献をめぐるって」

パネリストのチャ・サンピアラ君は、父と兄をポルポトに殺され、難民となって来日し今年日本の大学を卒業されました。SHAREの方は、カンボジアで援助活動をされてこられた医師・看護婦または助産婦の何れの方をお呼びしています。JVCの方は、世界各国で活動しているNGOを支援し、連絡を取り合い、世界中を飛び回っている方を予定しています。